

# 路上喫煙の空き缶等持ち去りの禁止を条例化

市では、歩行者の火傷被害や受動喫煙を防止するため、地区を指定して路上喫煙を禁止する「路上喫煙禁止条例」を制定しました。昨年4月に施行されたポイ捨て禁止条例(まちの美化を推進する条例)のパブリックコメントや市長ほっとミーティングなどに寄せられた、「歩きタバコの火は、ちょうど子どもの目の高さでとても危険」という意見を市役所が見逃さずに取り組んだ成果です。特に現在リニューアルが進められている箕面駅前広場から滝道、滝前広場が禁止地区になる予定で、違反者にはこの4月から一千万円の過料が科されます。箕面公園を訪れるみなさ



んがお互いに気持ちよく、安心して美しい自然やきれいな空気を楽しむことができればいいですね。また、空き缶等の資源物の持ち去りを禁止するため、「廃棄物条例」も改正されました。これは、市に分別排出された空き缶や子ども会等が地域で集団回収している古新聞等が何者かに持ち去られ、騒音・ごみの散乱、売り払い収入の減少等の被害が増えているためです。この条例は市の回収を守るだけでなく、自治会などで自主的に空き缶を回収し、活動資金に充てているような方々も守る仕組みになっています。身近なマナーの問題から循環型社会の推進まで、私たちの暮らしに直結するきめ細やかな取り組みに期待しています。



2011年1月発行

平成20年8月に箕面市長に就任させていただいてから、早くも3度目の新春を迎えることができました。任期の折り返し地点を過ぎても「スピード感」を失わず、箕面市政を進めていけることに大きなやりがいを感じるとともに、市民の皆様により良い暮らしのために、そして幸せのために、尽くし働けることに深く感謝しています。本当にありがとうございます。

- この1年をみても、
- 全小中学校の耐震化改修
  - 箕面大滝への滝道に「箕面の川床」復活
  - 乗れば乗るほど便利になる「オレンジゆずるバス」の運行開始
  - 子どもたちが本や主人公を表彰する「箕面・世界子どもの本アカデミー賞」の創設
  - ごみのポイ捨て禁止や美化活動を支援する「まちの美化を推進する条例」の制定
  - シニアパワーを地域活動につなげる「箕面シニア塾」と相談窓口「シニア・ナビ」の開設

など、振り返ってみると本当にたくさんの施策に全力で取り組んでまいりました。

その一方で、平成21年度決算において、3年ぶりの経常黒字を達成でき、未来の子どもたちにツケを回さないための財政再建や、100年後の箕面のまちを形づくる「背骨」である「北大阪急行延伸」もこの2～3年が正念場で精一杯のチカラを注いでいます。

このように、大好きな箕面市の市政に全力全開で取り組むことができるのも、ひとえに多くの方々のご理解とお力添えのおかげであると、ひしひしと感じています。

これからも、選挙時から一貫して掲げ続けている「子育てしやすさ日本一」、「安心・支えあい最優先」、「緑・住みやすさ最先端」を目標に、元気な箕面のまちづくりにまい進してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

倉田哲郎

倉田市政が誕生して3度目の新年を迎えました。毎月、次々と新しい政策決定や取り組みを実施している倉田市政、今年も目が離せません!

「市民のチカラ」本号は、倉田哲郎さんのメッセージと合わせて、倉田市政2年半の活動録をご紹介します。

箕面の明日をつくる会  
Fax 727-4326  
箕面市小野原西1丁目10番34号



## 倉田市長の学生時代は…?

倉田市長はいつたどんな学生時代を過ごしていたのでしょうか?それを証言してくれる方が現れました。大阪・北区にある「みお総合法律事務所」の代表弁護士である伊藤勝彦さんです。伊藤さんは学生時代、倉田市長と同じサークルに所属していました。その貴重な証言です。

「私は倉田市長と同時期に“東京大学法律相談所”というサークルに所属していました。ここで倉田市長は副幹事長という要職に就き、60年以上の歴史と所員200人という陣容を誇るこのサークルをまとめ上げてきました。この法律相談所の活動は、市民対象の週2回の無料法律相談や毎年5月に開催される東大五月祭での模擬裁判、そのほか夏休みに合宿をかねて日本全国で実施する移動法律相談、講演会や研修会など、幅広い活動を行っています。今でこそ「裁判員制度」により裁判が市民に身近な存在になっていますが、当時は裁判という一般市民の生活からはかけ離れたものでした。模擬裁判では、それをいかにわかりやすく一緒に考えてもらえるものにするかをみんなんで悩んでシナリオを考え、練習して、一つのものを作り上げていきます。私は裏方を担当していましたが、倉田市長は出演者の1人として安田講堂の舞台上で“被告”を熱演していたことを覚えています。無料法律相談では、例えば離婚に関することや相続、遺産分割などの家庭問題の相談が中心でした。教科書や授業だけではわからない、生の市民の声を聞き、悩みに触れ、最善の選択を探り出すという、このときの経験は、私はもちろん、倉田市長の今の職務にも生かされているものと思います」「えっ、当時の倉田市長のプライベートですか???」

## voicevoicevoicevoicevoicevoicevoicevoicevoicevoicevoicevoicevoicevoicevoicevoicevoicevoice

### 市民の皆さんから寄せられた声

**箕面、がんばってますよね!**

先日、滝道へ行ったら、たくさんの人でにぎわっていて驚きました。近頃、箕面のことを新聞でみることが多いので宣伝になって、関心を持って訪れる人がふえたのだと思います。(そういえば、やしきたかじんのテレビ番組に倉田哲郎市長が出ているのを観ました。インパクトありました(\*^\_^\*)) 阪急梅田駅で箕面の観光パンフレット配りをしている集団を見かけた友人が、まさか梅田まで宣伝にいくと思っていなかったの、がんばってるなあと思ったといっていました。箕面はいいところがたくさんあるのに、来てもらわないことには気づいてもらえませんが、これからも箕面の魅力を発信してってください。(萱野 S.N)

**市長の“育休モード”、私は応援します。**

お二人目のお子さんが誕生されたとのことでおめでとうございます。倉田哲郎市長さんが育児に関わるために育児休暇を取られたと聞きました。(「育休モード」とおっしゃっているようですが…) いろんな意見があると思いますが、私は男性も育児に参加して、日々の苦勞も喜びも共有することが人生を豊かにすると思っています。仕事と育児との両立の大変さ、子どもの何気ない仕草に感じるいとおしさ、いろんなことを感じると思います。育休を取れる状況の人が取って、その思ったことを人に伝えることで、育休を取りにくい状況を少しずつでも変えていってほしいと思います。(牧落 A.M)





# 市長の足跡《2年半の活動録》

## 平成21年度箕面市決算 3年ぶりに経常黒字！

箕面市の平成21年度一般会計決算が平成17年度決算以来、実に4年ぶりに市議会で承認されました。平成21年度の決算は、3年ぶりに経常黒字となりました。市では、景気が悪化して市税が減収する中、歳出削減・歳入確保が追いつかず、平成19年度決算において史上初めて経常赤字となり、平成20年度決算も2年連続で経常赤字となっていました。そこで、倉田哲郎市長は就任直後から市民サービスへの影響を最小限に抑えつつ、徹底した行財政改革を進めてきました。経常黒字となった平成21年度決算は、その成果であるとともに多くの市民のご理解とご協力の結果です。

今回、危機的な状況からはある程度脱却できたものの、今後も景気の低迷による市税の減収が見込まれています。倉田哲郎市長は、子どもたちの世代にツケを回すことがないよう、未来に向けた改革に全力で取り組んでいます。



## 建物火災による「死者ゼロ」が 昨年9月10日で1,000日達成

箕面市内での「建物火災による死者0（ゼロ）」が9月10日で1,000日を達成しました。スタートは平成19年12月16日からですので、倉田市政が誕生してからは建物火災による死者は発生していないこととなります。その後も更新は続き、ついに3年超えも達成しました。これは、消防本部、消防団をはじめ、婦人防火クラブ、防火協会のみなさんの絶え間ない火災予防啓発活動によるものと、市民の皆さんの強い防火、安全意識とその継続の賜物です。これからも行政と市民が協働して火災の発生を防ぎ、建物火災による死者0（ゼロ）を更新していきます。



火災警報器は住宅火災から生命を守る切り札です。設置期限の5月末までにおつけください。

今年4月からは箕面市と豊能町の課題を一気に解決する1市1町の“消防”協力体制がスタートし、市北部の消防力が大きく強化されます。また、倉田哲郎市長の就任以降、恒例となった消防と警察の合同発隊式など、市民の安全を守るための多彩な連携の取り組みは、大きな実りとなって表れています。

## 箕面・世界子どもの本 アカデミー賞



11月16日 朝日新聞

2010年の国民読書年を契機に子どもたちの読書契機を高めるため、「箕面・世界子どもの本アカデミー賞」が昨年7月に創設されました。この賞は、「子どもたちに本当に支持されている本を子どもたちが選ぶ」もので、小中学校に専任の学校図書館司書を配置し、全国的にも先進的に子どもたちの読書活動に取り組んできた箕面市ならではの、全国でもたいへん珍しい取り組みです。

去る11月14日には授賞式が行われ、ヤングアダルト賞に輝いた「バッテリー」のあさのあつこさんらに、子どもたち手作りのオスカー像が贈られました。また、授賞式には参加できなかった、「もしかしたら名探偵」の杉山亮さんら他の受賞作家も各学校へ訪れ、各学校では大盛り上がりでした。

近い将来、この賞がもっと有名になって、この賞の名が示すとおり、世界的な有名作家が授賞式に訪れるかもしれませんね。



★バスの運行状況はこちら→

バスの車体は、オレンジ色をベースに、おなじみ箕面のキャラクター「滝ノ道ゆずる」と「モミジヌ」、紅葉を組み合わせて、遠くからでもすぐに分かり親しみが持てるデザインです。愛称は、「滝ノ道ゆずる」にちなんで「席をゆずる、道をゆずる」の意味がかけ合わせられたもので、いずれも市内の小中学生が応募したアイデアです。みなさんも「オレンジゆずるバス」にどんどん乗って、もっともっと便利にしちゃいましょう！



内5ルートを循環する新たなバス交通として計画された「オレンジゆずるバス」。乗れば乗るほど増便され、逆に利用が減ると運行本数を減らすなどの評価・見直しルールも市民と協働してつくった、全国的にも事例がない先進的な取り組みです。

## オレンジゆずるバス

倉田哲郎市長のマネージャー「福祉バスと路線バスの連携や一体化を進めま」が形になり、9月1日から、箕面「コミュニティバス」オレンジゆずるバスの実証運行がスタートしました。市民や業者など総勢52人のメンバーで、半年間にワークショップを5回、現地調査を2回開催するなど活発な議論のもと、市内5ルートを循環する新たなバス交通として計画された「オレンジゆずるバス」。乗れば乗るほど増便され、逆に利用が減ると運行本数を減らすなどの評価・見直しルールも市民と協働してつくった、全国的にも事例がない先進的な取り組みです。

平成20年度	8月	・第15代箕面市長に就任（8/27）	
	9月	・新御堂突き当りの開発に異議を唱え、議会とともに行動を起こす	
	10月	・新稲の墓地開発中止（開発者が申請を取り下げ）	
	11月	・「地域の子どもの見守りのため」外院の里わんわんパトロール隊で協定を締結	
	12月	・子どもの医療費助成拡大を議会で可決（H21.4実施） ・財政構造改革の「緊急プラン（素案）・ゼロ試算」を公表	
	1月	・ゆずともみじの里・みのおプロジェクト公表	
	2月	・平成21年度予算案を発表（6年ぶりに経常収支を黒字転換）	
	3月	・市内バス路線網の再整備と社会実験をめざした法定協議会をスタート	
	平成21年度	4月	・タクシーやバス事業者と「行方不明者SOSネット」を発定
		5月	・箕面グリーンロード（トンネル）の値下げに向けた社会実験を実現
6月		・小学校・幼稚園のグラウンド「全面」芝生化に挑戦（箕面版ポット苗方式）	
7月		・「元気はつらつ頑張る高齢者表彰」を実施	
8月		・「箕面市・緊急経済対策プロジェクト」を発表	
9月		・サル餌やり禁止の条例を議会で議決	
10月		・国交大臣と面談。余野川ダム負担金の返還について意見書を提出 ・保育所の待機児童数をゼロにする「箕面市待機児童ゼロプラン」を発表	
11月		・コンビニエンスストアで「ふるさと寄附金」の納付ができるよう構造改革特区を提案	
12月		・「箕面プレミアム商品券」「箕面まごころ応援カード」を発行 ・職員の昇任選考基準に同僚・部下からの評価を導入 ・広域連携による特別市並みの権限移譲をめざし、近隣2市2町で合意 ・遊休農地解消に向けて「農地の利用権設定等促進事業」を開始	
平成22年度		1月	・市役所や公務員の仕事に興味がある方を対象に「市役所訪問」を開始
	2月	・平成22年度予算案を発表（2年連続で経常収支を黒字化） ・戸籍・住民票の不正取得防止のため「住民票等の本人通知制度」をスタート ・北大阪急行線の整備計画（案）を公表 説明会開催 ・「オンラインなわとび大会」を実施 ウェブ上で記録に挑戦	
	3月	・障害者の自立へ向け新たな制度創設のため、箕面市で実績のある「社会的雇用」制度を国へ要望 ・小中一貫教育の推進に向けて大阪教育大学と教育委員会が協定を締結 ・「ふれあい安心名簿条例」「まちの美化を推進する条例」を議会で議決 ・「箕面市・第二次緊急経済対策プロジェクト」を議会で議決（滝道の電線類地中化など国の経済危機対策を最大限に活用）	
	4月	・「箕面市みどり支援基金」を創設 ・山のみ景観を守る新たな制度「山すそ景観保全地区」を指定（H22.7施行） ・「箕面市のオリジナルナンバープレート」の交付開始 ・国が設置する「障がい者制度改革推進会議」総合福祉部会のメンバーに就任「社会的雇用制度」の必要性を発信 ・市立病院の診療情報を市内の診療所からオンラインで参照できる「地域医療ネットワークシステム」を構築	
	5月	・滝道で「川床」復活の実証実験（新緑期） ・教職員の任命権等移譲に向けて、近隣3市2町で取り組むことに合意 ・「箕面シニア塾」を開校 ・小学校長に「民間企業経験者等」の起用を方針決定（H23.4.1採用） ・市長自らが大学へ出向き、就職説明会を開催	
	6月	・「まちなかのみどり支援事業」をスタート ・子どもに関する手続きのワンストップサービス「子ども支援総合窓口」がオープン ・市立のすべての小・中学校で「学校防犯システム」を順次稼働 ・「止々呂美ふるさと自然館条例」を議会で議決	
	7月	・水道料金を値下げ（基本料金を19.4%） ・「箕面市あんしん消防救急基金」を設置 ・シニア世代の地域デビュー相談窓口「シニアナビ」を開設 ・「箕面・世界子どもの本アカデミー賞」を創設 選考がスタート ・箕面市にゆかりのあるアーティスト3名、2団体を特命大使に	
	8月	・滝道で「川床」復活の実証実験（夏期） ・かやの広場に「箕面中央都市」をオープン ・阪急桜井駅前に「暫定ロータリー」（コインパーキング併設）がオープン	
	9月	・新たなバス交通「オレンジゆずるバス」の実証運行を開始 ・市内公共施設での「赤ちゃんの駅」（授乳やおむつ替えができるスペース）の設置方針を決定 ・公共施設の再配置「施設再編プロジェクト（たたき台）」を公表	
	10月	・「第五次箕面市総合計画」を議会で議決 ・「路上喫煙禁止条例」を議会で議決 ・平成21年度決算で3年ぶりに経常黒字を達成 ・府警本部、箕面警察署、箕面市で「市営住宅入居者からの暴力団員排除に関する覚書」を締結 ・空き缶等の持ち去りを禁止する条例改正案を公表 ・「第1回箕面国際シニア演劇フェスティバル」を開催 ・箕面市、豊能町が北部地域での「消防連携」に合意	
11月	・「箕面・世界子どもの本アカデミー賞」授賞式を開催		